



# 平成29年9月磐田市議会定例会

## あしかわ和美 一般質問報告 (抜粋)

あしかわ和美の3つの柱である ①子育て力 ②地域力 ③環境力 について一般質問を行いました。

### ① 子育て力

● 質問の趣旨：育休中の母親から、なんとか保育園に入園させたいという相談を受けました。子どもが1歳になるまで育休を取得したいと考える保護者は多く1歳児の枠は4月の時点でほとんど埋まってしまい、年度途中での入園はとても困難になっています。そのため、子どもが1歳になる前に育休を切り上げて、0歳児枠で入園させるケースが多くなっています。磐田市が目指す「子育てするなら磐田」と選ばれる保育環境を整備するために質問しました。

#### ～育休明け入園予約制度の検討について～

##### 【質問1】 入園調整の現状と今後の見通し、対応方法を伺う

答弁➡ 年度当初の待機児童数ゼロは継続しているが、入園調整は決して容易ではない状況下で、年度途中の入園はさらに困難であり、早急な対応が必要だと認識している。保育枠拡大を図ると同時にきめ細やかな対応を続けていくことだと考える。

##### 【質問2】 妊娠中から未就学児を持つ子育て世代の意見の収集方法、実態把握方法を伺う

答弁➡ 保育園申請を直前まで検討される保護者が多いので、早期での収集意見が実態把握につながりづらいと考えている。現在は意見収集は行っていないが、実態把握につなげる努力を重ねていきたい。

##### 【質問3】 「待機児童園」「つなぎ保育」に対する市の認識と方向性を伺う

答弁➡ 入園を待つ子育て世帯の負担を軽減させる対策として、有効なものとして認識している。現時点では保育士確保や設置地域などの課題もあり、具体的な予定はないが、検討をしていきたいと考えている。

##### 【質問4】 入園予約制度のメリット・デメリットの認識及び創設について伺う

答弁➡ メリットは安心して育児休業の取得ができることや、入園準備、会社との復帰調整がスムーズに行えること。一方デメリットは入園予約月までの空き枠の無駄や、緊急時の保育に対応できないこと。自営業で育児休業制度がない保護者が利用できない点などが挙げられる。課題もあり、現時点では制度の有効活用は難しいと考えており、創設の考えはない。

#### ～保育枠を増やす取り組みについて～

##### 【質問1】 緊急に0・1歳児枠の定員を増やすことが求められているが、対応策を伺う

答弁➡ 幼保再編計画を着実に実施し、0・1歳児保育枠を広げていきたい。

##### 【質問2】 幼稚園の幼保連携型認定こども園化、小規模保育事業の推進状況を伺う

答弁➡ 幼保連携型認定こども園化については、地域の保育需要の解消に加え、老朽化した園舎の建て替えなどから、総合的に判断し必要に応じて推進していきたい。小規模保育事業については、待機児童対策として効果が大きいと考える。積極的に開設を支援していきたい。

##### 【質問3】 企業主導型保育事業による保育の可能性をどう捉えて進めていくか、また運営支援について考えを伺う

答弁➡ 仕事・子育てが両立できる制度として効果が期待できる事業と認識しており、開設支援も行っている。運営支援については、国から運営費補助が行われることから、市からの補助は現時点ではない。

##### 【質問4】 小規模保育への新規参入の施設整備の支援施策を伺う

答弁➡ 待機児童対策として効果の高い事業であるため、今後施設整備を含めた開設支援を検討していく。



### ② 地域力

● 質問の趣旨：第2次総合計画は、磐田市の未来をつくっていく大変重要な計画です。これからの時代は「市民参加型」の地域づくりが必要で、そのために行政と市民が共通の認識のもと、連携、協力体制を強化し、互いの能力や知恵を生かしながら、地域社会の発展に取り組んでいくことが重要だと考え、質問しました。

#### ～「まちづくりは対話から」人材育成について～

##### 【質問1】 磐田市人材育成基本方針、今後5年間どのような戦略を計画されているか

答弁➡ 今回訂正した基本方針では、目指すべき職員像に加え、個々の能力を最大限に発揮できる良好な職場環境をつくることも目標にしている。今後5年間においては、職場外・職場内の両方の育成を上手に連動させることで人材育成に努めていきたい。

##### 【質問2】 職員研修の目的と内容、職員が受講率、成果が業務に反映されているか

答弁➡ 本市では、自ら学び考え行動する自立型職員という職員像を掲げ、人材育成に努めている。平成28年度は全部で93本の研修を実施、延べ3,700人が受講している。事業が円滑に進んできていることから、職員の能力は確実に向上していると認識している。

##### 【質問3】 全職員がファシリテーション※1の研修を実施していく考えはあるか

答弁➡ 全職員への集中的な研修までは考えていないが、今日の行政運営について市単独では完結できない事柄も大変多くなっていることから、今後、会議等の場において意見集約ができるファシリテーション能力の向上に努めていきたい。

##### 【質問4】 市民ファシリテーターの育成について

答弁➡ 今後、地域活動や方向性などの議論が活発になってきた際、地域でのファシリテーターの必要性はますます高まっていくと考えるので、地域リーダーの育成にさらに努めていきたいと考えている。

※1 ファシリテーションとは・・・会議やプロジェクトなどの集団活動がスムーズに進むように、また成果が上がるように支援することです。その役割を担う人材をファシリテーターと呼びます。

### ③ 環境力

● 質問の趣旨：ダムや砂利採取などによって遠州灘の砂浜を作ってきた天竜川からの土砂供給が減ってしまったことによって、低地化が進み、毎年、海岸侵食により数メートルずつ砂浜が減り、海が陸側に近づいてくる危険な状態になっています。遠州灘の美しい砂浜の回復と、防災面の安全を図るために砂浜を再生させる海岸侵食対策は大変重要な事だと考え、質問しました。

#### ～海岸侵食について～

##### 【質問1】 海岸侵食の対応策について総合的な取り組みを伺う

答弁➡ 国や県の事業が推進されるよう、期成同盟会を通じて要望している。

##### 【質問2】 御前崎遠州灘県立自然公園運営協議会の活動状況や課題を伺う

答弁➡ 協議会は本市を含む6市1町で組織し、海岸の自然保護と適正利用について協議や情報交換を行っている。平成28年度は福田海岸に動植物保護を目的とした啓発看板を設置した。課題としては、目的である保護と利用のバランスを取りながら事業を進めることと考えている。

##### 【質問3】 砂浜の車両進入規制の推進を、県に要望していく考えはあるか。

##### 【質問4】 海岸に駐車場を整備する考えはあるか

答弁➡ 3と4に関しては、関連があるため一括して回答する。意見について県への報告はするが、砂浜への車両進入については海岸侵食の大きな直接的な要因ではないため、海岸侵食の観点からは、車両規制や、駐車場の整備は難しいと考えている。

